

(様式 4 : **全対象事業共通**)

令和 2 年度第 2 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	再生可能エネルギー普及啓発事業
補助事業者名	島根県
補助事業の概要	<ul style="list-style-type: none">・再生可能エネルギー・プログラミング教室 小学校高学年を対象に、県内 1 2 校で開催・太陽光発電に関するセミナー・相談会 事業者及び一般県民を対象に、県内 4 会場で開催・自立的な分散型エネルギーシステム構築セミナー 自治体、民間事業者を対象に、県内 3 会場で開催
総事業費	8,398,019 円
補助金充当額	8,398,019 円
定量的目標	<p>【再生可能エネルギー・プログラミング教室】 小学校高学年を対象に、再生可能エネルギーやエネルギーの効率的な利用に関する理解を深めることを目標とする。 参加者が分かりやすく、関心を高めるよう工夫した内容での実施に努め、教室終了後、理解度合いを把握するためのアンケート調査を実施し、「よく理解できた」「おおむね理解できた」の回答数が参加者全体の 8 割を超える成果指標とする。</p> <p>【太陽光発電に関するセミナー・相談会】 事業者を対象に、保守点検業務の重要性を理解し、施主に対するメンテナンス相談等につなげていくことを目的とする。セミナーの理解度合いを把握するためのアンケート調査を実施し、「よく理解できた」「おおむね理解できた」の回答数が参加者全体の 8 割を超えることを成果指標とする。</p> <p>同様に、一般県民に対するセミナーについても、内容の充実度を目標とし、参加者が分かりやすく、関心を惹くような情報提供の実施に努め、セミナー終了後、充実度合いを把握するためのアンケート調査を実施し、「よかった」「おおむねよかった」の回答数が参加者全体の 8 割を超え</p>

	<p>ることを成果指標とする。</p> <p>【自立的な分散型エネルギーシステム構築セミナー】</p> <p>自治体、民間事業者に対し、地域のエネルギー需給の特性に応じた自立的な分散型エネルギーシステムの構築(地域新電力会社等)に向けた地元機運を高めることが目的であることから、セミナー内容の充実度を成果指標とし、先進事例等参加者の関心を惹くような情報提供の実施に努め、セミナー終了後、充実度合いを把握するためのアンケート調査を実施し、「よかった」「おおむねよかった」の回答数が参加者全体の8割を超える成果指標とする。</p>
<p>補助事業の成果及び評価</p>	<p>【再生可能エネルギー・プログラミング教室】</p> <p>今年度から、エネルギー資源の有効利用という観点から、自動制御の仕組みなど電気の効率的な利用についてプログラミングを使用した体験型学習を取り入れた。</p> <p>再生可能エネルギーやエネルギーの効率的な利用に関する理解を深めることを目標とし、「よく理解できた」「おおむね理解できた」の回答が参加者全体の8割を超えることを指標としていたが、児童に伝わりやすい言葉を用いて「よくわかった」「まあまあわかった」という回答としたところ96%の回答となり、9割を超える高い評価となった。</p> <p>昨年度までの教室は、電気の仕組みや再生可能エネルギーの紹介が中心だったが、枯渇するエネルギーと地球温暖化問題を学んだうえで、省エネ行動につながるプログラミングを使った自動制御の方法を教室で学ぶことで、児童が日常生活におけるエネルギーの利用について振り返ることができ、より理解を深めることができた。</p> <p>また、振り返りシート(アンケート)の中で「これからは、電気を無駄にしないで行動したい。」等と記載した児童がいることから、枯渇していく化石燃料について、しっかり考え、再生可能エネルギーの重要性・必要性を認識してもらうことができた。本事業の目的である次世代を担う子どもたちに環境問題やエネルギーの重要性を、自分のこととして「気づき・理解し・実践する。」という普及啓発の効果があった。</p>

【太陽光発電に関するセミナー・相談会】

事業者向けのセミナーでは、環境問題やエネルギー全般の知識や、卒FIT後の活用方法、発電設備の災害時の対応やメンテナンスの方法等設備の長期安定的な活用を推進していくうえで必要な幅広い内容で構成した。さらに、事例紹介など具体的な説明を追加し、かつ参加者と意見交換をすることで、個々の事業者の課題を共有し、実務に活かせる講義となり理解促進の効果があつた。

アンケートでは、参加者のうち、「かなり理解できた」「まあ理解できた」という参加者が81%となった。

住宅用太陽光発電においては、設備所有者のメンテナンスに対する意識を高めていくことが重要であり、セミナーに参加しない層への普及啓発が課題である。今後も事業者に対する意識向上に努め、事業者から設備所有者へメンテナンス案内や相談につながるよう継続した取組が重要である。

一般県民向けのセミナーでは、事例紹介など専門性のある説明を除く事業者向けのセミナーと同様な内容で実施した。さらに、太陽光モジュールや蓄電池の実物展示による発電の仕組みを紹介することで参加者のより深い理解につながつた。

アンケートでは、参加者のうち、「かなり理解できた」「まあ理解できた」という参加者が81%となった。

一方、セミナーに参加した感想については、「満足」「やや満足」という参加者が74%の結果となったのは、県外講師を出雲会場からリモート講義に変更したことによる受講環境の影響であると推測される。

【自立的な分散型エネルギーシステム構築セミナー】

今年度から自立的な分散型エネルギーシステム構築への機運醸成を図るため、国からの事業説明と自治体新電力会社から行政・事業者の講師を迎えた先進事例発表で構成するセミナーを開催し、自治体、事業者それぞれの参加者の理解促進を目指した。

セミナーの内容の充実度合いを成果指標とし、アンケートでは、セミナーに参加した感想について、参加者のうち「満足」・「やや満足」の回答が83%となった。

	<p>また、アンケート結果から「事業化を検討したい。」「協力したい。」と参加者の7割から肯定的な意見があったもの、事業化を進めていくうえでの課題について「人材や体制面に不安を感じる。」とした参加者が7割いることから、今後も課題解決に向けた情報提供や専門家への相談など継続した取組が必要である。</p> <p>また、地域に根付いた事業化を進めるにあたり、事業に対する地域住民の理解促進も重要であることから、一般県民を対象としたセミナーについても開催を検討する必要がある。</p>	
<p>補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 （※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載）</p>	<p>契約（間接補助）の目的</p>	<p>① 令和2年度「再生可能エネルギー・プログラミング委教室」開催業務 ② 電気の利用実験セットの購入 ③ 電気の利用セットと手回し発電機の購入 ④ 太陽光発電に関するセミナー・相談会開催業務 ⑤ 自立的な分散型エネルギーシステム構築セミナー開催業務</p>
	<p>契約の方法</p>	<p>① ～⑤随意契約 （①④⑤は企画提案競技）</p>
	<p>契約の相手方（間接補助先）</p>	<p>① 一畑電気鉄道株式会社 ② ③株式会社えすみ松江営業所 ④ 株式会社メディアスコープ ⑤ 株式会社エブリプラン</p>
	<p>契約金額（間接補助金額）</p>	<p>① 3,443,000円 ② 10,450円 ③ 447,480円 ④ 2,443,199円 ⑤ 2,024,000円</p>
<p>来年度以降の事業見通し</p>	<p>次年度も、再生可能エネルギー普及啓発事業として、同様の事業を継続し、再生可能エネルギー導入促進及び発電設備の適切な維持管理につながる土壌、基盤づくりに取り組んでいきたい。</p>	

（備考）

- (1) 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- (2) 補助事業の成果及び評価の欄には、(1) で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- (3) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- (4) 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。